

～道～

3年
学年だより
第8号

小平市立小平第三中学校
第3学年
令和4年9月14日

「受験生チャレンジ支援貸付」 の説明会のお知らせ

「受験生チャレンジ支援貸付」は、学習塾などの費用や高校・大学の受験費用を無利子で貸し付けします。また、入学し、手続きを行うことで返済が免除となります。説明会は、令和4年10月29日（土）で第一部が10時、第二部は14時～となります。各回30名程度で、すでに申し込みが始まっています、申し込みは、9／5～10／21（金）午前9時から午後5時（月～金）です。電話にてご予約ください。

＜問い合わせ＞ 小平市社会福祉協議会 042-344-1217
（9時～17時 祝日を除く月～金）

「中間考査テスト範囲配布」

9／12（月）は、中間考査2週間前、6教科のテスト範囲が配布されました。夏休みを終えて、学習習慣が身につについて、本格的な受験シーズンが始まりました。しっかりと①計画をたてること②計画を実行すること③「量」より「質」を高めることの3つを心掛けてこの2週間、やりきってください。

夏休みの三者面談で、各自課題を提示されていると思います。その「課題」を解決、課題解決に少しでも近づけるようにすることがポイントです。保護者のみなさん、生徒の頑張りを見守り、タイミングよくお声かけをお願いします。

追伸：健康には十分気をつけてください。体調不良のときは無理しないこと、無理をさせないことをお願いします。

「授業」こそ最強の受験勉強

「～の秋」というと保護者のみなさんは、どんな言葉を連想されますか。「食欲の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」などありますが、受験期に入り、私は「実りの秋」「収穫の秋」という言葉を期待します。

夏休みは、夏期講習や会場テストと今までとはちがった毎日を送ってきました。この日々の成果をこれからの学校でのテストに出せることを期待されていることでしょう。

しかし、最強の受験勉強は「授業」なのです。定期考査・入試問題は、授業で学んだことが出題されています。また、「内申点」も毎日の「授業」の積み重ねで評価されているのです。

では、どのように「授業」を受ければよいのでしょうか。人は「興味関心」がないと全く覚えることはできなくなります。先生の板書や発言を聞き逃すのは、「興味関心」がないからです。「興味関心」＝「集中力」そのように感じています。授業中、ボーとしている人、ちがうことをやっている人、寝ている人こんな態度では、せっかくの「授業」が無駄になってしまいます。

苦手や嫌いな教科の授業でも、少しだけ「興味を持って聞いてみよう」という気持ちになれば「授業」で話した先生の言葉が残るかもしれません。

これは、経験から話しますが、今まで多くの受験生と接してきましたが、受験のためという名目で、学校を休んだり、「授業」中に別の教科を勉強したりしている人が成功する確率は大変低くなってきます。

今一度、「授業」の受け方を見直してみるよう生徒と話しをしてください。よろしくお願いします。

「面接」の学習が始まります。

多くの上級学校の入試に取り入れられている「面接」。本校では、11月より面接練習を放課後に実施しています。

第三学年ではこの「面接」について、教材を使って学習していきます。

面接では、その人の人柄をみています、とはいえませんが、面接試験には、最低限のマナーや所作、言葉遣いがあります。それを知っている、できていることが基本です。それができていなければ、面接試験官の質問に素晴らしい回答をしても合格と認められることはありません。

例えば、自分の親のことを「パパ、ママ」と言ったり、自分のことを「名前」で言ったり。語尾に「です、ます」がつけられなかったり。返事が「はい」ではなく「うん」だったり……。言葉遣いだけでもこれだけ心配なことがあげられます。

そのため、面接試験について学習することは大切です。今回は5時間、学習することになります。この面接学習の成果が、ご家庭でも生徒の発言や所作が変わっていくかもしれませんね。生徒の変容を確認してみてください。よろしくお願いします。

※ 上履きも面接官がよく見るポイントです。かかとを踏む癖は直しておきましょう。